

「全力すぎる 大分県豊後高田市」Vol.21

第5回「住みたい田舎」ベストランキングで シニア世代部門第1位、総合部門第2位に輝く

～全国で唯一 5年連続ベスト3にランクイン～

大分県豊後高田市がリリースする「全力すぎる 大分県豊後高田市」Vol.21です。
豊後高田市の魅力満載情報を全力でお届けします。

【Contents】

- 第5回「住みたい田舎」ベストランキングでシニア世代部門全国第1位に！
- 1月10日は「豊後高田市移住の日」
- 全力発展中な豊後高田市

【■第5回「住みたい田舎」ベストランキングでシニア世代部門の全国第1位に！】

宝島社『田舎暮らしの本』2月号（平成28年1月29日発売）、「2017年版 住みたい田舎ベストランキング」において、豊後高田市はシニア世代部門で第1位、総合部門で第2位の評価をいただきました。



さらに豊後高田市は、4年前の「全国第1位」をはじめ、3年前の「全国第3位」、2年前の「全国第3位」、昨年の「全国第3位」に引き続き、全国で唯一5年連続ベスト3にランクインとなりました。

このランキングは、全国の市町村を対象に宝島社が独自のアンケートを実施し、回答のあった500市町村の回答結果により決定されたものです。また、今回から「総合」「若者世代」「子育て世代」「シニア世代」の4つの部門に分け、それぞれ移住地として魅力的な市町村をランキングで紹介しています。

▼宝島社「田舎暮らしの本」

<http://tkj.jp/inaka/>

【■1月10日は「豊後高田市移住の日」】

豊後高田市では、国が地方創生を掲げ、中央から地方への人の流れを推し進めようとする中、「小さくてもキラリと光るまち」「夢をかたちに 未来に光り続けるまち」をめざし、様々な移住定住施策を積極的に進めています。

この取り組みを全市民と共有し、豊後高田市が移住定住地として発展していくために、1月10日（1イ10ジュウ）を「豊後高田市移住の日」として、一般社団法人日本記念日協会に記念日登録しています。

《記念イベント》

「豊後高田市移住の日」を記念して、講演会を開催します。

『藤山 浩 氏 まちづくり講演会』

- 日時 1月12日（木）18：30～20：00
- 場所 豊後高田市役所高田庁舎2階コスモスホール
（大分県豊後高田市是永町39番地3）
- 演題 「田園回帰の時代 地元にと仕事を戻す」

《もりだくさんの定住支援施策》

豊後高田市では、様々な定住支援施策を実施しています。

●空き家バンク事業

市内の空き家と宅地を有効活用するため台帳に登録し、情報提供を行います。

⇒ <http://www2.city.bungotakada.oita.jp/teijuu/>

●ハッピーマイホーム新築応援奨励事業

市内で住宅を取得した場合、10万円の奨励金を交付します。

また、市内の小規模地域や周辺部地域に住宅を取得した場合、最大 30 万円の奨励金を交付します。

●子育て世代いらしやい引越し応援事業

市外にお住まいの子育て世帯が転入する際、引越し業者に支払う費用に対し助成します。(上限 10 万円)

●孫ターン奨励事業

市外に居住している市内出身の親を持つ子が、定住の意思をもって本市に転入する際に奨励金を交付します。(10 万円)

●ウェルカム未来の高田っ子応援事業

県外にお住まいの子育て世帯が市内に移住した場合、応援金を交付します。(10 万円)

●お帰るなさい住宅改修事業

Uターン者が、市内にある自宅の改修を行う際に補助金を交付します。(上限 40 万円)

●ムーブイン就労家賃応援事業

市内に勤務し、市外に居住している方が転入し、民間アパート等に入居した場合、応援金を交付します。(1 年間 3 万 6 千円×2 年間)

●空き家リフォーム事業

空き家バンク登録物件の改修や不要物の撤去に要する費用に対し、補助金を交付します。(①改修上限 40 万円、②撤去上限 10 万円、③仏壇処分上限 5 万円、④入居者決定後のハウスクリーニング上限 3 万円)

※その他にも様々な支援があります。詳しくは下記サイトをご覧ください。

▼豊後高田市 I J U (いじゅう) 支援サイト

<http://www2.city.bungotakada.oita.jp/teijuu/>

【■全力発展中な豊後高田市】

豊後高田市は、平成 27 年 3 月 31 日に新市誕生 10 周年を迎え、新たなブランドコンセプトとして「全力発展中 豊後高田市」を掲げ、ブランドマークを制定しました。

このブランドマークは、まちが全力で挑んでいく「熱気や情熱」を表現しています。

豊後高田市は、市民一人ひとりが何事にも「全力」で取り組み、「夢をかたちに 未来に光り続けるまち」の実現に向けて全力で発展し続けます。

